2023 年度

プログラミングで海の SDGs!

~海と日本 PROJECT~

事業報告書

主催:一般社団法人イエローピンプロジェクト

〒150-0033 東京都渋谷区猿楽町 29-10 ヒルサイドテラス C-21

メール: info@programming.or.jp

Web サイト: https://programming.or.jp/umip/

Facebook: https://www.facebook.com/YppSDGs/

Twitter: https://twitter.com/YppSDGs

目次

1. 実施櫻	既要	5
(1)		会場イベント
•••••		5
① 東京	都中目黒	5
② 東京	都大田区	6
③ 静岡!	県浜松市	7
④ 大阪/	府河内長野市	9
⑤ 沖縄!	県宮古島市	11
⑥ 静岡県	県沼津市	13
⑦ 香川!	県丸亀市	15
⑧ 広島!	県呉市	17
9 長野!	·県上田市	19
⑩ 福岡!	県福岡市	21
① 神奈/	川県横浜市	23
① 大阪/	府東大阪市	25
③ 宮城!	県石巻市	26
14 鹿児	島県鹿児島市	28
⑤ 群馬!	県桐生市	30
16 兵庫!	県加西市	32
(2)		出前授業
•••••		33
① 菅生	学園初等学校(東京都あきる野市)	33

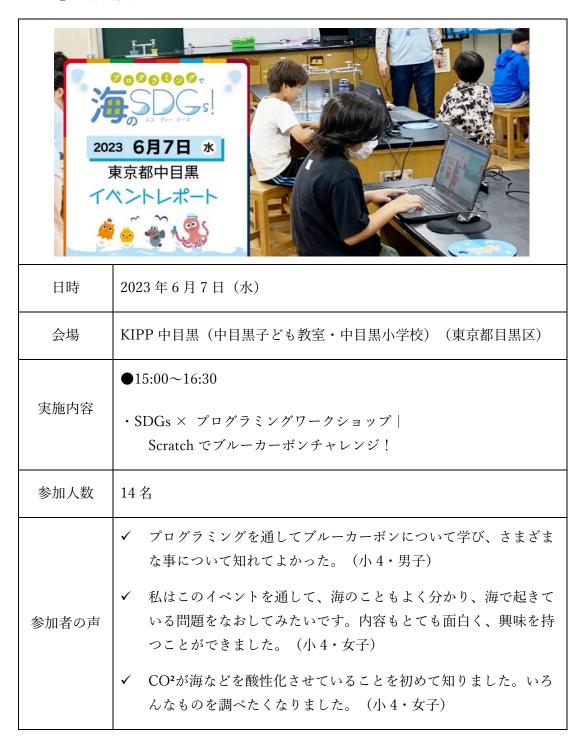
2	昭和女子大学附属 昭和小学校(東京都世田谷区)	34
3	菅生学園初等学校(東京都あきる野市)	35
4	東京都 江戸川区立 第七葛西小学校	36
(5)	千葉県 浦安市立 東野小学校	37
6	神奈川県 横須賀市立 神明小学校	38
7	栃木県 大田原市立 西原小学校	39
8	神奈川県 横浜市立 洋光台第三小学校	40
9	兵庫県 神戸市立 名倉小学校	41
10	東京都 足立区立 弘道第一小学校	42
11)	宮城県 仙台市立 鶴谷小学校	44
12)	神奈川県 横浜市立 能見台小学校	46
13)	神奈川県 横須賀市立 武山小学校	48
14)	東京学芸大学(東京都小金井市)	50
15)	東京都 江東区立 深川第一中学校	51
16)	栃木県 足利市立 青葉小学校	52
17)	奈良県 大和郡山市立 筒井小学校(オンライン)	54
18)	宮城県 仙台市立 荒井小学校(オンライン)	55
19	北海道 利尻町立 沓形小学校(オンライン)	57
20	東京都 足立区立 東栗原小学校	58
21)	聖セシリア小学校(神奈川県大和市)	59
22	北海道教育大学附属札幌小学校(北海道札幌市)(オンライン)	61
23)	埼玉県 富士見市立 水谷小学校	62
24)	東京都 中野区立 塔山小学校	64

2.	参加人数	65
3.	事業成果物及び URL	65
4.	広報としての制作物	66
5.	イベント実施に伴う制作物や購入記載	66
6.	本事業に関する広報活動実績	67
(1))	
		67
1	水素情報館 東京スイソミル(東京都江東区)	67
2	② こども科学センター・ハチラボ(東京都渋谷区)	67
3	③ 滋賀大学 子ども統計プログラミング教室(滋賀県長浜市)	67
7.	成果物がアップロードされている CANPAN の URL	67

1. 実施概要

(1) 会場イベント

① 東京都中目黒



② 東京都大田区



日時	2023年7月26日 (水)
会場	大田区立中萩中小学校(東京都大田区)
実施内容	●14:00~16:00 • SDGs × プログラミングワークショップ Scratch で動かす海の生き物たち
参加人数	19 名
	
参加者の声	✓ 人たちのせいで、海の環境が悪くなっているので物を落としたり、ポイ捨てをしないようにしたいと思いました。 (小 4・男子)
	✓ 海に行ったときに、ごみを一つでも拾おうと思いました (小3・女子)

③ 静岡県浜松市



2023年8月10日(木)	
浜名湖体験学習施設ウォット(静岡県浜松市)	
●午前の部 10:00~12:00	
●午後の部 13:30~15:30	
・SDGs 講演会「みぢかな宝の海 浜名湖」のお話	
講師:原田 益見(はらだ ますみ) (浜松こども館・館長)	
(供悩ことも貼・超文)	
・SDGs×プログラミングワークショップ	
Scratch でブルーカーボンチャレンジ!	
18名	
✓ CO2 はぼくたちがたくさん出していてすごく影響していて、地上 の植物も海の植物もがんばっているんだなと思った。(小 4・男子)	
✓ プログラミングやスクラッチについて沢山知れてよかったです。 また海の生き物が私たち人間のせいで減少していることを知っ て、私もこれ以上海の生物たちがいなくならないよう努力しよう と思いました。(小6・女子)	

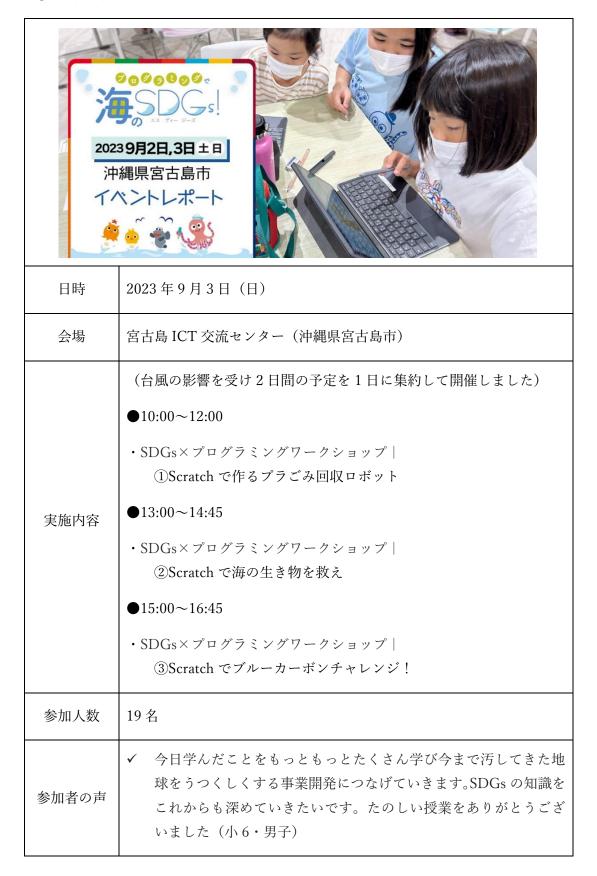
	✓ プログラミングの授業は学校でうけていて、子どもが興味あるもののようです。その勉強も兼ねて自然や生態系の勉強もでき、さらには自分が置かれている現状や未来について考えるきっかけになりました。(保護者)
メディア掲載	中日新聞: 8月15日(火) 新聞掲載

④ 大阪府河内長野市



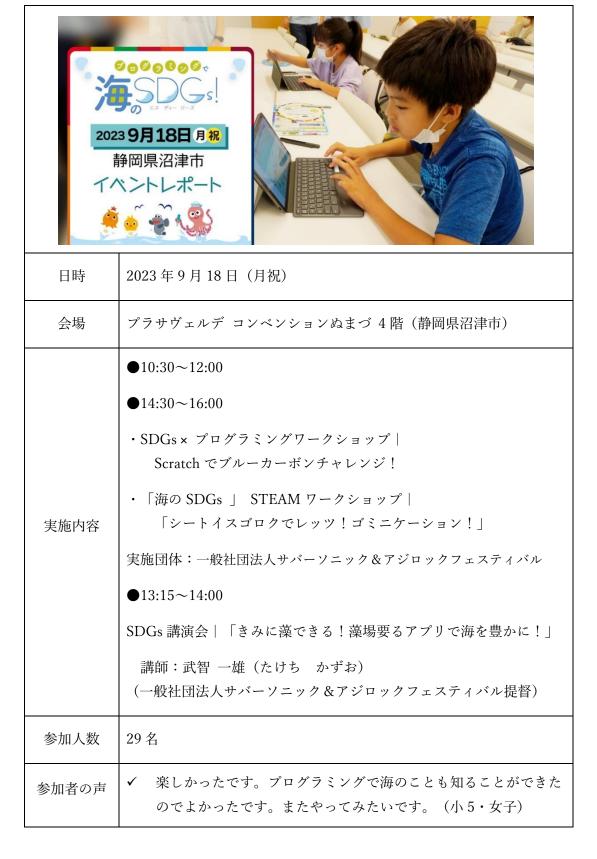
	✓ こんど川にいったときゴミ拾いをさいごにしてからかえる (小3・男子)
	 ✓ 海でもプラスチックが、細かく分かいされてさかなたちが食べているから、自分たちも、食べている可のうせいがある、ということを知った。 (小4・男子)
	 ✓ ごみはあんなにすてられていると思いませんでした。自分らがだしたごみはかならずすてるようにします。1日ありがとうございました。 (小4・女子)
参加者の声	✓ ポイ捨てを一人がするだけで、こんなに大変になるということを 知って、一人一人が心がければ目標は達成できるんじゃないかな ぁと思いました。 (小5・女子)
	✓ SDGs の勉強としても、プログラミングの勉強としても、ためになりました。 (小 4・女子)
	✔ ごみは海や川にぜったいに捨てないようにする。(小4・男子)
	✓ ごみをリアルに拾って、そのごみはどこへいくのか、ものすごく痛感できた。(保護者)
メディア掲載	JCOM: 8月16日(水) ケーブルテレビ放送

⑤ 沖縄県宮古島市



- ✓ 海のことを知れてうれしかった(小3・男子)
- ✓ プログラミングと海のこと、両方について学ぶことができました。 せっかく宮古島に住んでいるのでもっともっと海を大切にしてい きたいです。(保護者女性)
- ✔ 海のごみをもっと拾おうとおもった。(小4・女子)
- ✓ 自然界を守りながら、生活するのが大切だと、改めて思いました。 ごみを増やさない為に何が出来るのか、自然と共存するために、子 どもたちに広めて欲しいと思います。いちばんは大人にかな。 (保護者女性)

⑥ 静岡県沼津市



- ✓ アマモが海にとって大事な存在であることが分かった。海の豊か さを守ろうと言う気持ちが更に高まった。(保護者)
- ✓ プログラミングで、世界をすくえることがわかりました。他に も、魚やかいそうにやさしいビニールぶくろがあることがわかり ました。 (小4・女子)
- ✓ シートイスゴロクが楽しかった。(小3・男子)
- ✓ 海にごみを捨てないでほしい(小3・男子)
- ✓ 藻が環境保全に役立つことを知って、すごいと思いました。 (小 6・男子)
- ✓ 海草や海藻の大切さを、今一度感じれた。(中1・男子)
- ✓ 学校では「もば」があり、その「もば」が減っていることしかし らなかったけれど、「もば」はふやせることや、もが二酸化炭素 をきゅうしゅうすることを知ることができた。とてもわかりやす かった。(小5・女子)

メディア掲載 | 沼津朝日新聞: 10月1日(日) 新聞掲載

⑦ 香川県丸亀市

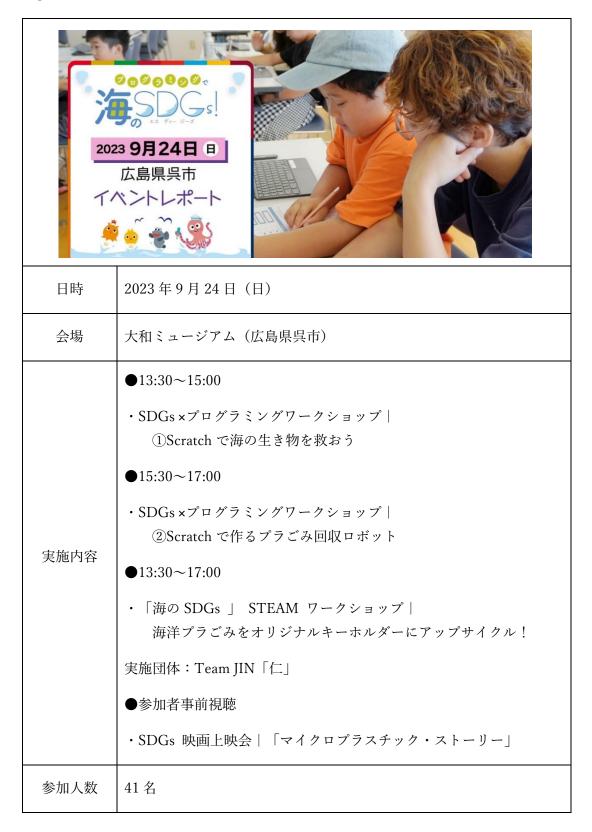


- ✓ プログラミングで海のことを知れておもしろかった。(小 4・男子)
- ✓ 海のことがいっぱいわかって、スクラッチも楽しかった。 (小 5・男子)
- ✓ プログラミングを通して海の SDGs について知ることが出来て楽しかったです。(小 6・女子)
- ✓ 興味なかった妹が楽しそうにやっててうれしかったです。兄も学校でしかプログラミングをしていないのによく知っててもっと出来ることを増やしてあげたいと思いました。海のこと、プログラミングどちらも楽しかったです。(40代・保護者女性)

参加者の声

- ✓ プログラムに頼り過ぎず、一つの手段として自分で考えていくことも大切であること(10代・男性)
- ✓ 海ゴミ問題をプログラミングして可視化することで SNS に拡散し やすくなる(10 代・男性)
- ✓ SDGs を ICT を活用して考えていくことも必要だと知りました。 ICT と実体験両方で海について考えていかなければいけないと感じました。(保護者)
- ✓ アマモや海草が二酸化炭素削減に役立っていることが分かりました。海の環境とプログラミングが同時に学べるのが良かったです。 (保護者)
- ✓ このイベントに参加していろいろなことを学びました。お父さん や妹にも、海の生き物 (アマモなど) が二酸化炭素を吸収している ことを教えたいです。 (小 5・女子)

⑧ 広島県呉市



- ✓ エコに気をつけてみようと思いました。未来の為の募金としてこれからも続けてもらいたいです。(30代・保護者)
- ✓ プラスチックゴミによって魚がぜつめつしてしまうかのうせいが あることがべんきょうになりました。(小3・男子)
- ✓ プラスチックがたくさん海にながれていると知ってからプラスチックをへらしたらいいと思った(小3・男子)
- ✓ すごく分かりやすく子供たちも楽しみながら学ぶことができたのでよかった(40代・保護者)

参加者の声

- ✓ プログラミングで社会問題を解決できると思い、家でやってみたいです。 (小 6・女子)
- ✓ ごみでキーホルダーを作っているのがすごいなと思いました。海 にごみが捨てられていたら自分から拾って環境を良くしたいで す。 (小 6・女子)
- ✓ うみにごみをすてないようにともだちにつたえます。(小 1・男子)
- ✓ 海を大切にすることが人々の生活をよくすることにつながると思う。(小 6・女子)
- ✓ プラゴミをへらすためには世界中の人が心がけないとできない。 いろんな色があってコレクションみたいでした(小 5・男子)

⑨ 長野県上田市



- ✓ 海なし県の中で子どもに海のことを教える機会がなかったのであ りがたかったです。プログラミングをきめ細かく教えてもらえて 良かったです。(保護者)
- ✓ (海の) SDGs のことについてしっかり学べた。工場の中に入れて おもしろかった。 (小 6・女子)

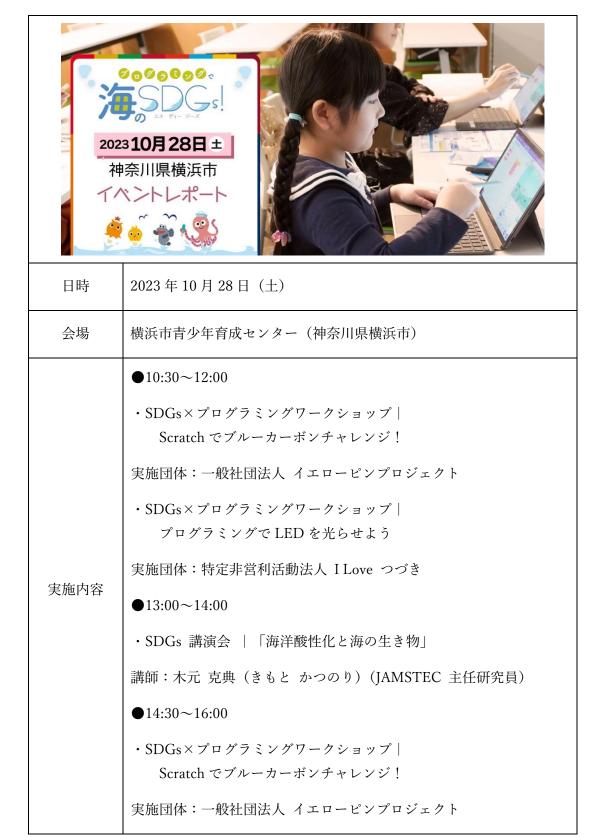
⑩ 福岡県福岡市



日時	2023年10月21日(土)・22日(日)
会場	博多港国際ターミナル (福岡県福岡市)
実施内容	「全国アマモサミット 2023in ふくおか」 ●10 月 21 日(土) 15:00~16:30 ●10 月 22 日(日) 10:00~11:30 ・SDGs ×プログラミングワークショップ Scratch でブルーカーボンチャレンジ!
参加人数	14 名
参加者の声	 ✓ プログラミングをして楽しかったし、海やアマモが二酸化炭素を吸収していることを初めて知った。またやりたいと思った。(小6・女子) ✓ 海に行ってワカメかコンブに魚がいたのはみたことがあったけれど、アマモというものに魚がたくさんいることを初めて知りました。(小4・女子) ✓ アマモがこんなに減ってきていることや、地球温暖化で貝が減っ
	てきていることをこのイベントで知りました。(小 4・男子)

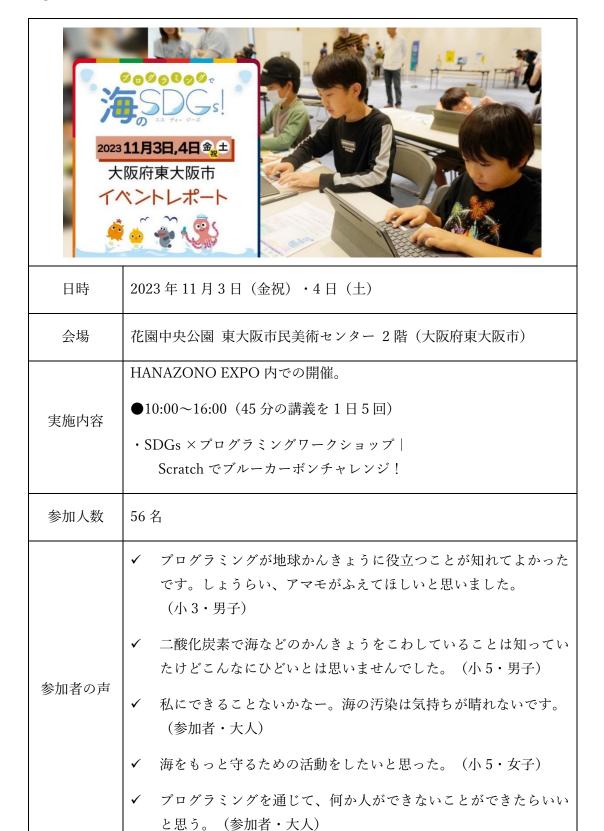
✓ 学校の授業で学ぶ二酸化炭素など、実際の社会では、生活の中では、どのように自分に関連しているのか?プログラミングを楽しみながら、学習できたのではないかと、満足しています。息子は、魚を食べることも好きなので、海に食に、関心を持って、これからもいろんなことに挑戦してもらいたいと思い、今回お申し込みをしました。ありがとうございました。(40 代・保護者)

① 神奈川県横浜市



	・SDGs×プログラミングワークショップ Scratch で海の生き物を救おう 実施団体:特定非営利活動法人 I Love つづき
参加人数	17 名
	✓ ブルーカーボンをプログラミングを通して考えるというとても興味深い内容でした。こどもがブルーカーボンや海のことについてとプログラミングの両方を学べる良い機会となりました。 (保護者)
参加者の声	✓ キレイな海を保ちたいと思った。(小5・女子)✓ 海洋酸性化について学びを深めることができました、また参加したいです!(小3・女子)
	✓ 海洋酸性化についてよく知ることができました。3D プリンターで作った模型などを触ることができて、分かりやすく、面白かったです。(保護者)

② 大阪府東大阪市



③ 宮城県石巻市



Jan Land	
日時	2023年11月18日(土)
会場	いしのまき MANGA Lab.ヒトコマ(宮城県石巻市)
	●10:00~12:00
実施内容	・SDGs 講演会 「『やっぱり海が好き』海のお仕事と海ゴミのこと」
Z/IEI I/I	講師:平井 慶祐(ひらい けいすけ) (写真家/映像制作)
	・SDGs ×プログラミングワークショップ Scratch でブルーカーボンチャレンジ!
参加人数	5名
	✔ イベントに参加して頭が少し良くなった気がする。(小5・女子)
	✓ 海洋ごみは非常に回収しづらいこと。漂着したごみを集めることが最善であること。(保護者)
参加者の声	✓ 一人ひとりの心がけ次第で、海の環境を大きく変えるんだと感じました。(保護者)
	✓ 海洋ゴミがなくなるまでにかかる時間が知れて、意識してゴミを 捨てようと思った。時間があればゴミ拾いも参加したい。 (保護者)

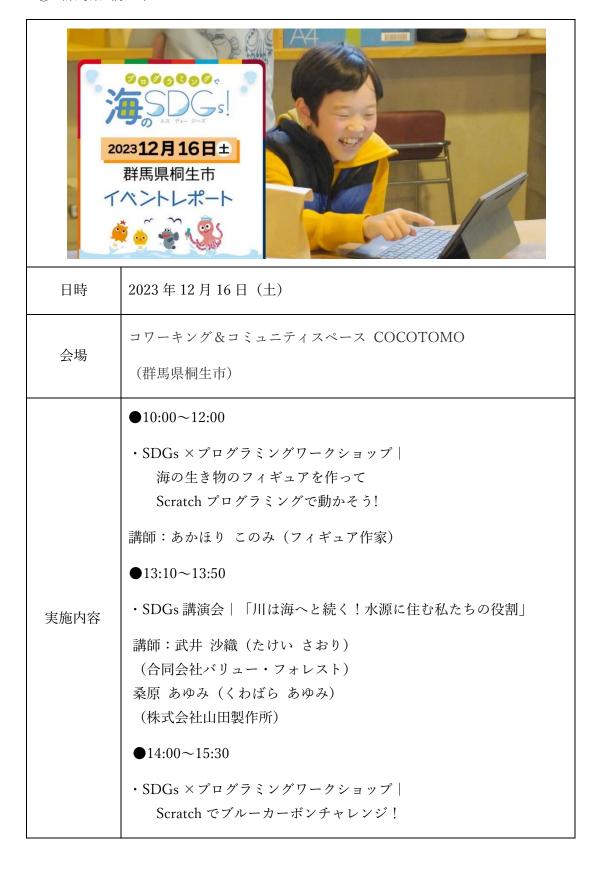
- ✓ プログラミングのことも知り、今の海の環境のことも知ってとて も勉強になった。 (小5・男子)
- ✓ プログラミングを通して海のことを学べてとても楽しかったです。 (小5・男子)
- ✓ ゲームを通して二酸化炭素が増えすぎるとどうなってしまうのか、分かりやすく、とても興味深く聞くことができました。 (保護者)

⑭ 鹿児島県鹿児島市



- ✓ プログラミングで楽しく学べたし、CO2 を吸収する植物がたく さんあるという事も知り、とてもいい時間だと思いました。 (小5・男子)
- ✓ より身近な環境問題として感じることができた。継続して大人も子どもも取り組みについて楽しく勉強出来ればいいなと思いました。今後もただ、聞くだけでなく、ゲームなどを通して参加したいです。(保護者)

15 群馬県 桐生市



参加人数	13 名
	✓ 私は、海水よくでプラスチックのゴミをいくつか発見しました。 魚がとても見られる海水よく場だったのにとてもざんねんでした。今日来て、2050年はゴミがとても多いことを知りました。 これからはもっと気をつけていきたいです。(小3・女子)
	✓ プログラミングでうごくのを作ったのがたのしかった。 (小3・女子)
	✓ 身近なことから海をよごしていることに気づいた。これからは、 気を付けて行動しようと思う。(小6・男子)
参加者の声	✓ ブルーカーボンやグリーンカーボンなどの自然が CO2 を減らしているということにおどろいた。(小6・男子)
	✓ このイベントに参加して、山や海に関係なく、水に関しての問題が沢山あることを知った。(小 6・女子)
	✓ プログラミングで楽しく海の環境を学びました。講演会もわかり やすくて、海を守るために私たちができることは何かがわかりま した。(小6・女子)
	✓ 大変勉強になり有意義な時間を過ごせました。ありがとうございました。(保護者)
メディア掲載	上毛新聞: 12 月 17 日(日) 新聞掲載
, , , , , , , ,	桐生タイムス: 12月 25日(月) 新聞掲載

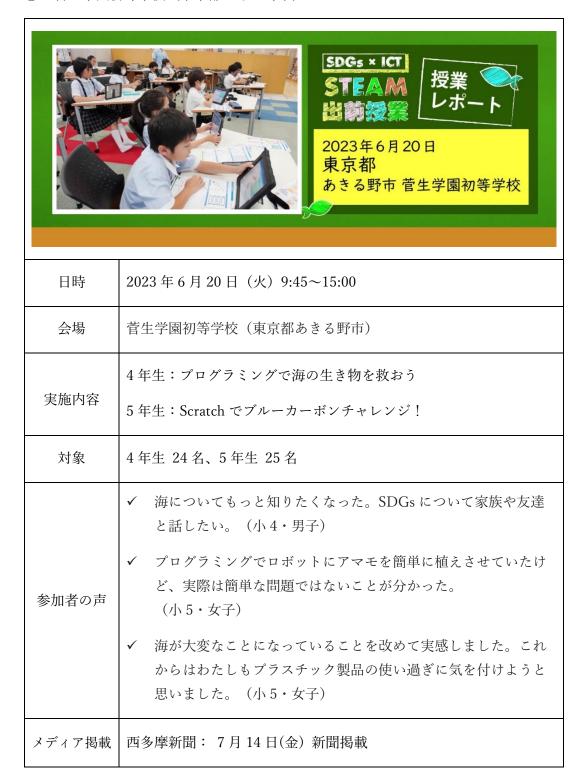
16 兵庫県 加西市



日時	2024年2月3日(土)
会場	善望公民館(オンライン)(兵庫県加西市)
実施内容	●10:00~12:00 「プログラミングで海の SDGs!」 プログラミングで海の生き物を救おう
参加人数	11 名
	✓ 今起きている問題がより詳しくわかりました。これからはよりよい世界にするために自分ができることだけでもいろいろやってみたいです。 (小6・男子)
参加者の声	✓ プラスチックをなくすことが大切だと思った。(小1・女子)
	✓ 海でこんな大変なことがおきていたなんて知らなかったです。 (小 1・男子)
	✓ 低学年にも分りやすく、高学年には飽きさせないようにレクチャー頂き、大変いいイベントになりました。(保護者)

(2) 出前授業

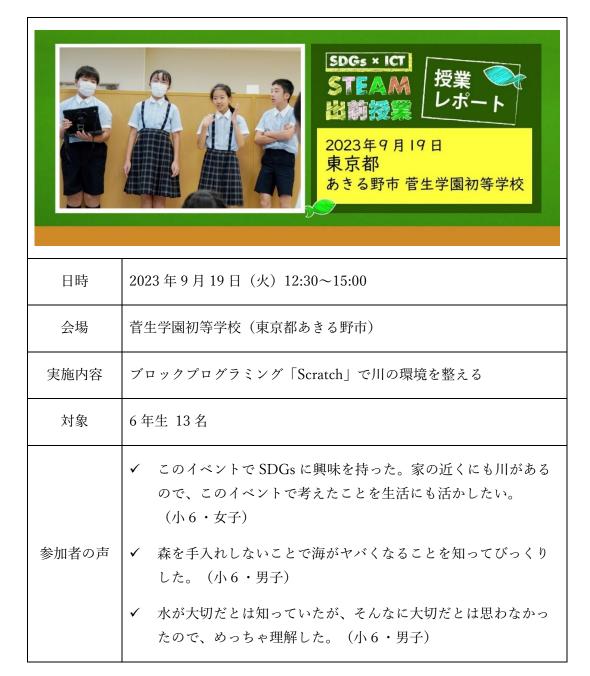
① 菅生学園初等学校(東京都あきる野市)



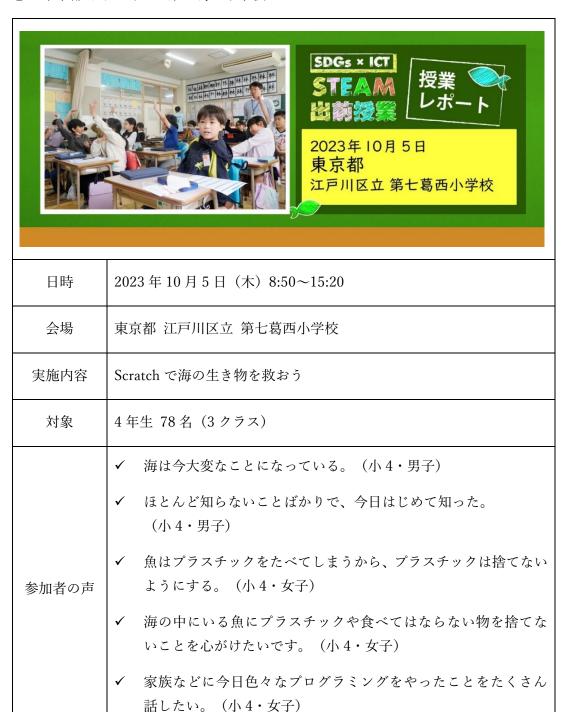
② 昭和女子大学附属 昭和小学校(東京都世田谷区)



③ 菅生学園初等学校(東京都あきる野市)



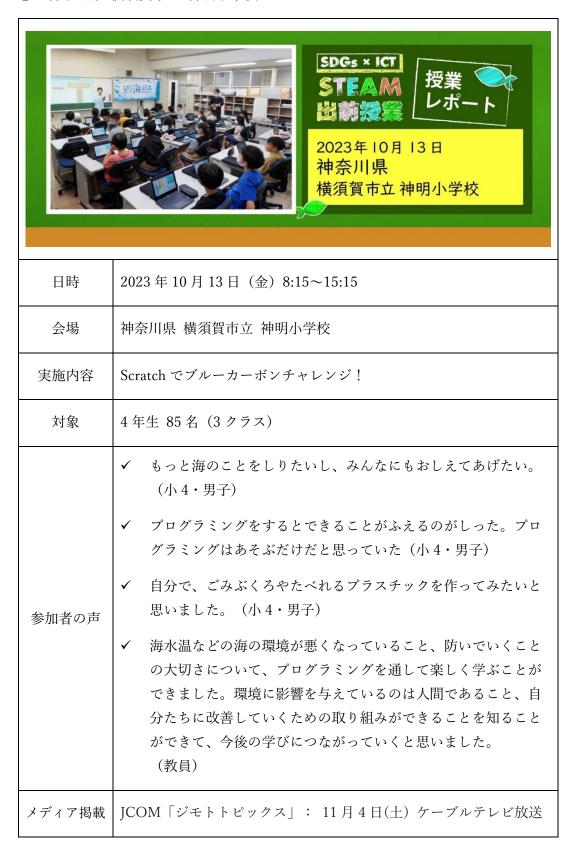
④ 東京都 江戸川区立 第七葛西小学校



⑤ 千葉県 浦安市立 東野小学校



⑥ 神奈川県 横須賀市立 神明小学校



⑦ 栃木県 大田原市立 西原小学校

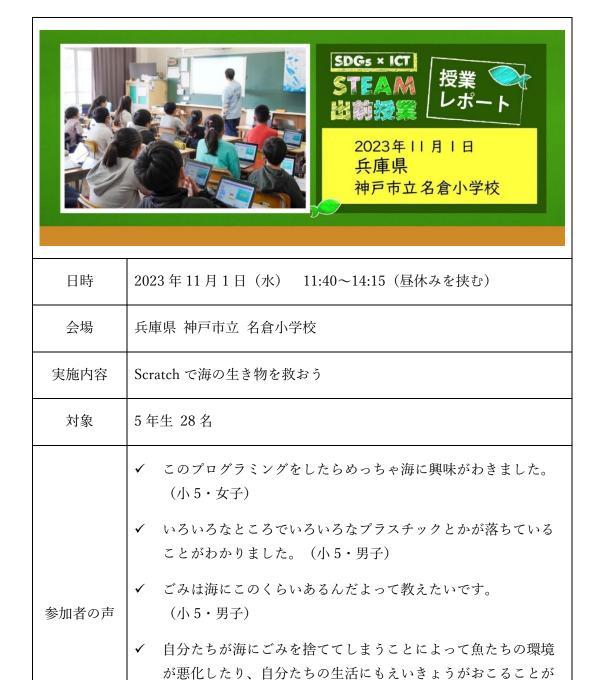


日時	2023年10月17日 (火) 10:40~15:20
会場	栃木県 大田原市立 西原小学校
実施内容	Scratch でブルーカーボンチャレンジ!
対象	4年生 99名 (3クラス)
参加者の声	 ✓ この授業でブルーカーボンやグリーンカーボンという言葉の意味がわかり、海をきれいにすることは難しくても、川の近くにごみを捨てなかったりして自分で予防できることがわかりました。(小4・男子) ✓ 魚がすみづらくなっていたりサンゴや貝などが強いカラを作れなくなっているけど私たちがアマモを協力して植えると二酸化炭素もなくなって、サンゴや貝が強いカラを作れるようになると思った。(小4・女子) ✓ 子どもたちがいつもよりも目を輝かせて取り組んでいる様子で、とてもいい機会になった。(教員) ✓ プログラミングを活かして、身近な環境や海のことについて興味を持たせるきっかけとなった。(教員)

⑧ 神奈川県 横浜市立 洋光台第三小学校



⑨ 兵庫県 神戸市立 名倉小学校



わかり、勉強になった! (小5・女子)

✓ 海の環境問題に対して、プログラミングを使って、取り組んでい くことを学びました。ありがとうございました。(教員)

⑩ 東京都 足立区立 弘道第一小学校



日時	2023年11月9日(木) 10:40~15:00
会場	東京都 足立区立 弘道第一小学校
実施内容	Scratch で海の生き物を救おう
対象	4年生 50名 (2クラス)
参加者の声	 ✓ 海の動物が食べないようになっている袋があるのは知らなかった。プログラミングはやりがいがあって楽しかった。(小4・女子) ✓ 海でプラスチックを食べた魚をシャチが食べていてごみは道にあったら拾った方がいいと思いました。(小4・男子) ✓ プラスチックのことで、ペットボトルは、400年ぐらいでなくなるのがびっくりしたし、マスクは紙だと思っていたから、プラスチックだと聞いて、海で暮らしている生き物がかわいそうだなと思いました。(小4・女子) ✓ お母さんに海の環境が汚れていたりプラスチックが魚に影響を与えていると教えてあげたい。(小4・男子) ✓ プログラムなど子どもたちが操作しやすいように組まれ、楽しむことができた。(教員)

	✓ SDGs を学ぶときにスクラッチを使うことができることは、す ごく有益でした。(教員)
メディア掲載	朝日小学生新聞: 12月8日(金) 新聞掲載

① 宮城県 仙台市立 鶴谷小学校



- かもしれない。プラスチックは海の生きものにとってキケンな 物なんだなと思いました。(小5・女子)
- ✓ 自分だったらごみを減らしたいと思いました。あと家のごみの 種類をまた知りたいなと思いました。 (小5・男子)

✓ 海のごみは、大体不法投棄だと思ってました。落ちているごみ がいつか海にいるかもなんですよね。プログラミングを使って 参加者の声 ごみを拾うロボットを作ってほしいなと思いました。 (小5・女子)

- ✓ 海とプログラミングが関係していることを知れてうれしかっ た。海に関係するプログラミングをつくりたくなった。 (小5・男子)
- ✓ 身近なところでも自分達にできることを子どもたちと考えやっ てみたいと感じました。(教員)

JCOM「ジモトトピックス」: 11月25日(土) ケーブルテレビ放送

メディア掲載

河北新報: 12月3日(日)新聞掲載

⑫ 神奈川県 横浜市立 能見台小学校



日時	2023年11月29日(水) 13:20~14:40
会場	神奈川県 横浜市立 能見台小学校
実施内容	Scratch でブルーカーボンチャレンジ!
対象	4 年生 32 名
参加者の声	 ✓ アマモ場など知らなかったことをたくさん知れてとてもいい機会になったと思います。これからも、ぜったいに海にごみ(プラスチック)を捨てないようにしていきたいです。(小4・女子) ✓ プログラミングを通して CO2をアマモが吸収していることが分かった。埋め立てによってアマモが減っていることが分かりました。住宅地から海へごみがおちていることが分かりました。(小4・男子) ✓ 私も海を守って、アマモが育つようにしたいです。イベントをして、分かったことを実際に生かして SDGs でこの目標を達成したいです。(小4・女子) ✓ 今まではごはんの時に魚やエビなどが出るのは当たり前だったけど、このままだったらすぐに食べられなくなっていくし、色々な人が協力して対策しないと海のかんきょうが変わってい

ってしまうから、皆で協力して対策した方がいいと思った。 (小4・男子)

- ✓ 地球規模で海洋の異変がおきていることが実感できた。 (教員)
- ✓ アマモが海のゆりかごとして、海の環境を整えること。アマモ は種から育ち、わかめやコンブとは異なること。スクラッチを 通して、楽しみながら SDGs を学べることです。(教員)

③ 神奈川県 横須賀市立 武山小学校



日時	2023年12月1日(金) 10:40~15:15
会場	神奈川県 横須賀市立 武山小学校
実施内容	Scratch でブルーカーボンチャレンジ!
対象	6年生71名(2クラス)
参加者の声	✓ 今海でおきている問題などを知れてよかった。この授業でプログラミングがさらに好きになった。(小 6・男子)
	✓ 先生の話を聞いて色々な割合を知れました。プログラミングで、アマモは CO2 を吸収することも知れました。授業を受けて、さらに SDGs の私達にできることをやりたいなと思いました。(小 6・女子)
	✓ 海では、海洋ごみがたくさんあったり、サンゴや貝などが骨格 や殻を作りにくくなる可能性があることを知った。アマモをも ともと知らなかったけれどゲームをして分かった。 (小 6・女子)
	✓ SDGs の問題を解決するには人工的なもの以外にも、ロボットなどの AI 系の道具が必要なことを知った。プログラミングを通して勉強したので理解度が深まった。(小 6・男子)

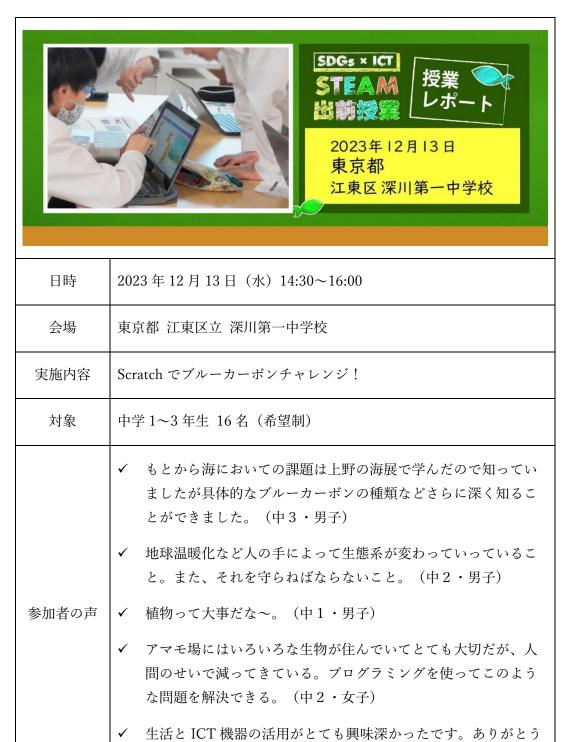
- ✓ 人が豊かな暮らしを求めることによって、海や自然がピンチになっている。アマモは CO2 を吸収できたり、流れをゆっくりにしたりと、色々すごい。 (小6・女子)
- ✓ 「アマモ」の存在をそもそも知らなかった子が多かったと思う ので、この授業で知れて良かったです。 (教員)
- ✓ Scratch をやりやすいように設定してくださっていたり準備を丁 寧にしてくださっていた。また、スタッフの方が4名も来てく ださって教えていただけた。(教員)

⑭ 東京学芸大学(東京都小金井市)



日時	2023年12月6日(水) 13:00~13:40
会場	東京都 小金井市 東京学芸大学
実施内容	Scratch でブルーカーボンチャレンジ!
対象	大学生 3 名
参加者の声	 ✓ 社会科や理科、プログラム能力を含む情報科という様々な教科を横断した内容であり、現行の学習指導要領で求められている「教科横断的な学び」だと感じました。一度の講義で、コードの作成から論理的思考法や、SDGs を発端とした環境問題を含む社会知識など、あらゆる知見を得られたと思います。 ✓ SDGs について、持続可能な社会とは、海の現状と解決策をまなぶことができた。 ✓ スクラッチという、エクセルの初歩となる重要なアプリについてとその操作方法を学べました。

⑤ 東京都 江東区立 深川第一中学校



ございました。(教員)

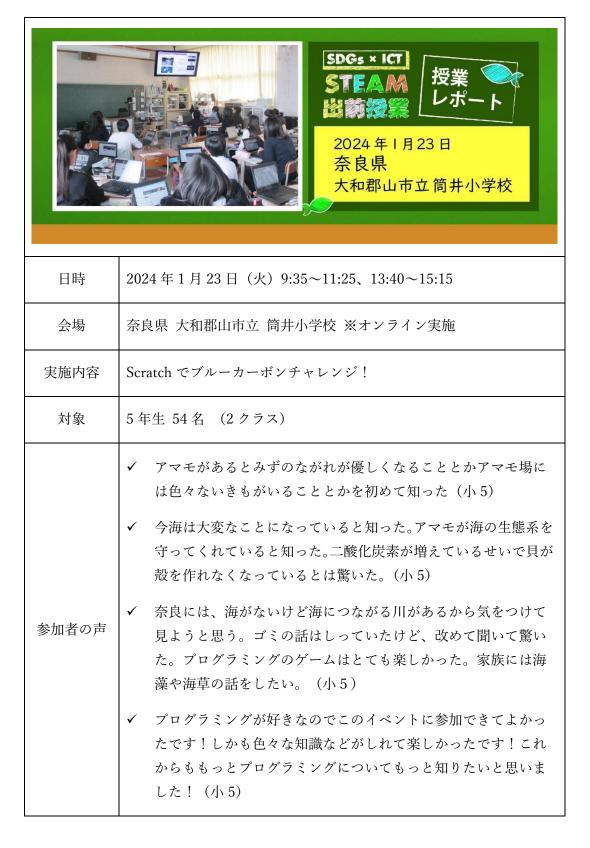
⑯ 栃木県 足利市立 青葉小学校



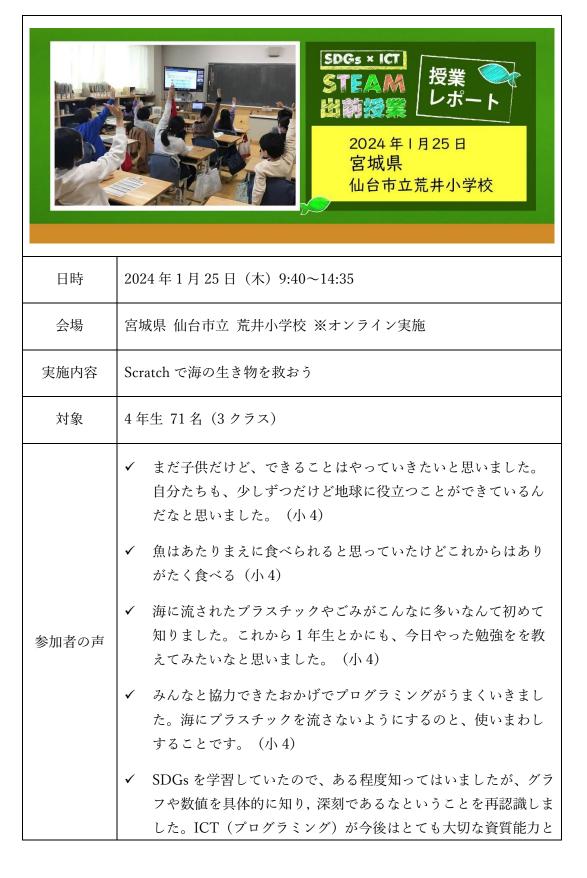
日時	2023年12月15日(金)13:45~15:20
会場	栃木県 足利市立 青葉小学校
実施内容	Scratch でブルーカーボンチャレンジ!
対象	5年生 42名 (2クラス一斉授業)
参加者の声	 ✓ プログラミングをしながら楽しく海の環境に触れられました。 普段は考えないことをじっくり考えたら、「海がない県でも、 海につながる川があるから、川から自然を大切にできる」ということを学べました。自分もできるかぎり自然を気にかけてみようと思いました。(小5・女子) ✓ アマモのことをゲームで学べたのが楽しかった。説明も分かりやすくてすごい楽しかった。(小5・男子) ✓ 私達人間のせいでこんなに海が大変になっていることは知りませんでした。貝類がいなくなるのはいやだなと思いました。ゲームではアマモをすぐ育てられたけど実際は難しいのかなと思いました。(小5・女子) ✓ ママに二酸化炭素が海の中に溶けて海洋酸性化という現象が起きるんだよと伝えたいです。(小5・女子)

- ✓ ゲームが楽しくてまたやりたくなってきた。海についてもっと 知りたくなってきた。(小5・男子)
- ✓ プログラミングのことを学びながらも、SDGsの海のことについて学べたので二重でためになった。子どもたちも集中して取り組んでいた。(教員)

⑪ 奈良県 大和郡山市立 筒井小学校 (オンライン)



⑱ 宮城県 仙台市立 荒井小学校(オンライン)



感じたので、学校でも少しずつ取り組んでいきたいと思います。 ありがとうございました。(教員)

⑲ 北海道 利尻町立 沓形小学校(オンライン)



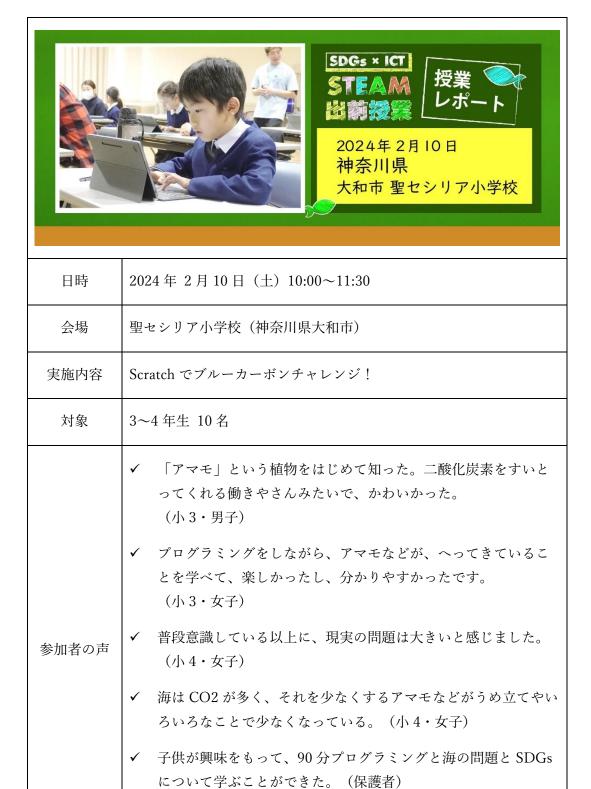
日時 2024年2月2日(金) 10:15~11:40 会場 北海道 利尻町立 沓形小学校 ※オンライン実施 実施内容 Scratch でブルーカーボンチャレンジ! 対象 6年生 9名 ✓ ブログラミングが楽しかったです。もともと海の問題や地球の課題について興味があったので楽しいイベントでした。もっと海や環境のこと知りたいです! (小6) ✓ 海・海藻・海の生き物・などが、深く知れてよかったです!また、このイベントがあったら参加したいです! (小6) ✓ 海の為にも地球の為にも SDGs を心掛けないとなっと思いました。 (小6) ✓ SDGs を授業を通じて指導してきましたが、プログラミングを使い、実際に起きていることを身近なこととしてとらえることのできる方法には、感心致しました。昆布漁がさかんな地域ですので、それとブルーカーボンが結び付くのは、子ども達もおぼろげながらわかっていましたが、このようなプログラミングを使うことで、より一層学びが深まったことと思います。 (教員)		
 実施内容 Scratch でブルーカーボンチャレンジ! 対象 6年生9名 ✓ プログラミングが楽しかったです。もともと海の問題や地球の課題について興味があったので楽しいイベントでした。もっと海や環境のこと知りたいです! (小6) ✓ 海・海藻・海の生き物・などが、深く知れてよかったです!また、このイベントがあったら参加したいです! (小6) ✓ 海の為にも地球の為にも SDGs を心掛けないとなっと思いました。 (小6) ✓ SDGs を授業を通じて指導してきましたが、プログラミングを使い、実際に起きていることを身近なこととしてとらえることのできる方法には、感心致しました。昆布漁がさかんな地域ですので、それとブルーカーボンが結び付くのは、子ども達もおぼろげながらわかっていましたが、このようなプログラミングを使うことで、より一層学びが深まったことと思います。 	日時	2024年2月2日(金) 10:15~11:40
対象 6年生 9名 ✓ プログラミングが楽しかったです。もともと海の問題や地球の 課題について興味があったので楽しいイベントでした。もっと 海や環境のこと知りたいです! (小6) ✓ 海・海藻・海の生き物・などが、深く知れてよかったです!ま た、このイベントがあったら参加したいです! (小6) ✓ 海の為にも地球の為にも SDGs を心掛けないとなっと思いまし た。 (小6) ✓ SDGs を授業を通じて指導してきましたが、プログラミングを 使い、実際に起きていることを身近なこととしてとらえること のできる方法には、感心致しました。昆布漁がさかんな地域で すので、それとブルーカーボンが結び付くのは、子ども達もお ぼろげながらわかっていましたが、このようなプログラミング を使うことで、より一層学びが深まったことと思います。	会場	北海道 利尻町立 沓形小学校 ※オンライン実施
 ✓ プログラミングが楽しかったです。もともと海の問題や地球の課題について興味があったので楽しいイベントでした。もっと海や環境のこと知りたいです! (小6) ✓ 海・海藻・海の生き物・などが、深く知れてよかったです!また、このイベントがあったら参加したいです! (小6) ✓ 海の為にも地球の為にも SDGs を心掛けないとなっと思いました。 (小6) ✓ SDGs を授業を通じて指導してきましたが、プログラミングを使い、実際に起きていることを身近なこととしてとらえることのできる方法には、感心致しました。昆布漁がさかんな地域ですので、それとブルーカーボンが結び付くのは、子ども達もおぼろげながらわかっていましたが、このようなプログラミングを使うことで、より一層学びが深まったことと思います。 	実施内容	Scratch でブルーカーボンチャレンジ!
課題について興味があったので楽しいイベントでした。もっと海や環境のこと知りたいです! (小6) ✓ 海・海藻・海の生き物・などが、深く知れてよかったです!また、このイベントがあったら参加したいです! (小6) ✓ 海の為にも地球の為にも SDGs を心掛けないとなっと思いました。 (小6) ✓ SDGs を授業を通じて指導してきましたが、プログラミングを使い、実際に起きていることを身近なこととしてとらえることのできる方法には、感心致しました。昆布漁がさかんな地域ですので、それとブルーカーボンが結び付くのは、子ども達もおぼろげながらわかっていましたが、このようなプログラミングを使うことで、より一層学びが深まったことと思います。	対象	6年生 9名
(数目)	参加者の声	課題について興味があったので楽しいイベントでした。もっと海や環境のこと知りたいです! (小6) ✓ 海・海藻・海の生き物・などが、深く知れてよかったです!また、このイベントがあったら参加したいです! (小6) ✓ 海の為にも地球の為にも SDGs を心掛けないとなっと思いました。 (小6) ✓ SDGs を授業を通じて指導してきましたが、プログラミングを使い、実際に起きていることを身近なこととしてとらえることのできる方法には、感心致しました。昆布漁がさかんな地域ですので、それとブルーカーボンが結び付くのは、子ども達もおぼろげながらわかっていましたが、このようなプログラミングを使うことで、より一層学びが深まったことと思います。

20 東京都 足立区立 東栗原小学校



日時	2024年2月5日(月)8:40~15:00
会場	東京都 足立区立 東栗原小学校
実施内容	Scratch で海の生き物を救おう
対象	3年生 54名、4年生 50名(4クラス)
参加者の声	 ✓ みんながきょうりょくしていること。みんなががんばってさかなたちをたすけている。 (小3・女子) ✓ プラスチックをすてる量が多くてびっくりした。 (小3・女子) ✓ 魚がプラスチックを食べて死んじゃってかわいそう。 (小3・男子) ✓ 海を大切にしようと思いました。ごみを少なくしたいと思った。 (小4・女子) ✓ 海にごみをなるべく出さないようにしようと思った。ごみを区別するのが大切だと思った。 (小4・男子) ✓ マイクロプラスチックごみは自然界にとってとてもきけんだと
	▼ マイクロフラスチックごみは自然界にとってとてもきけんだと 思った。この学習をできてとてもよかった。(小 4・男子)

② 聖セシリア小学校(神奈川県大和市)

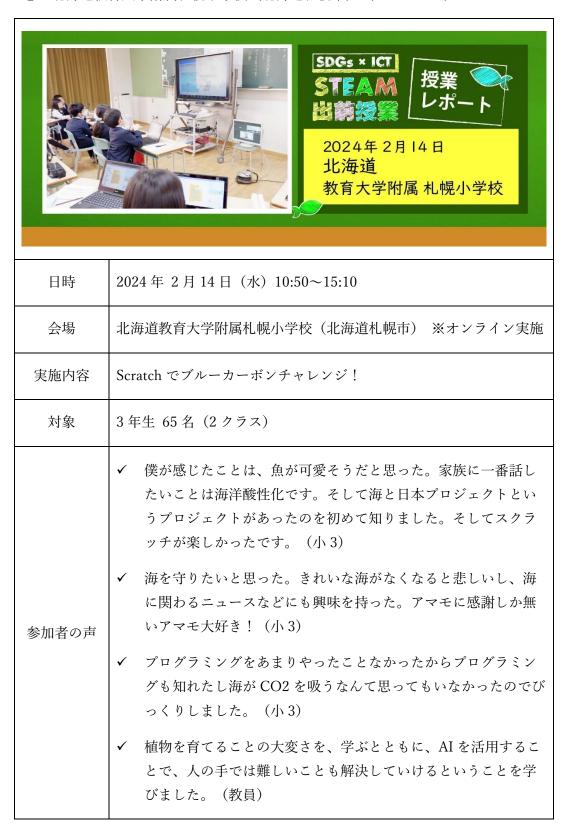


✓ アマモの役割。プログラミングの面白さ。グリーンカーボンや

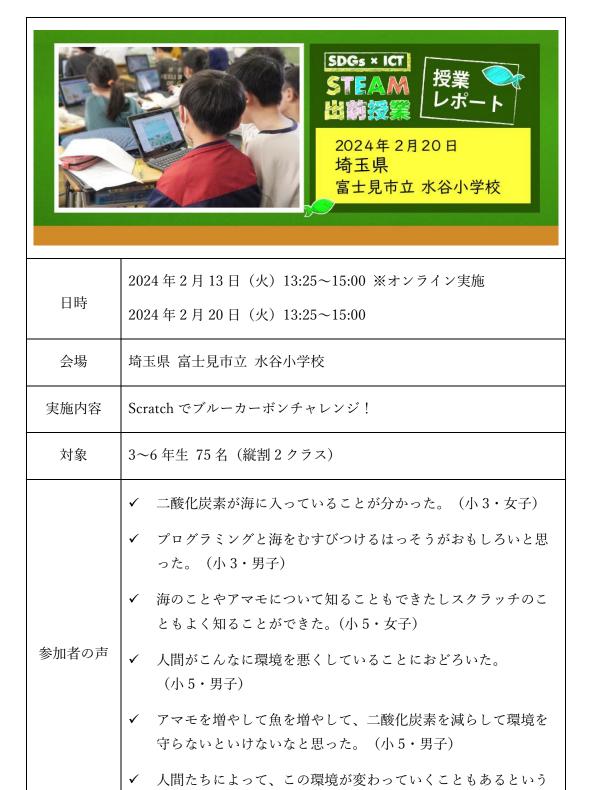
ブルーカーボンは聞いたことがあったが、その他にも、ブラッ

ク、ブラウン、レッド、ティール等あるのが興味深かった。 (保護者)

② 北海道教育大学附属札幌小学校(北海道札幌市) (オンライン)



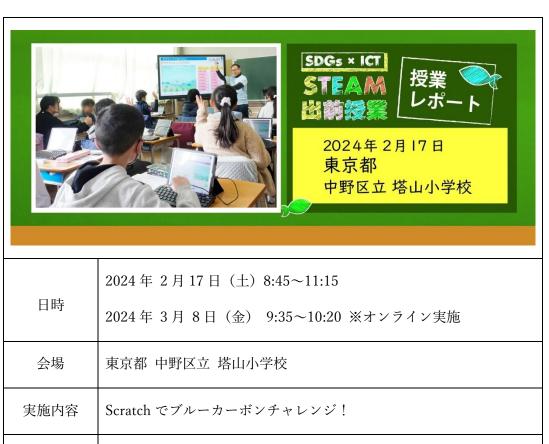
② 埼玉県 富士見市立 水谷小学校



ことを一番話したいです。 (小6・女子)

✓ 海の現状について、ゲームを通して、知ることができてたのしかったです。 (小6・男子)

② 東京都 中野区立 塔山小学校



✓ ゲームをとおして教えられて、おもしろくて、すごいなぁーと 思った。(小5・男子)

- ✓ 環境にもっとやさしい世界を作りたいと思った。 (小5・男子)
- ✔ 海そうってすごい! (小5・女子)

5年生72名(3クラス)

参加者の声

対象

- ✓ おもしろかった。CO2 がふえすぎるとダメなことをしりました。(小 5・男子)
- ✓ 未来、私達が生きていくために、SDGs や地球温暖化への取り 組みをしていることが分かった。(小 5・女子)
- ✓ プログラミングを通して、環境問題に興味を持つきっかけになったと思います。(教員)

2. 参加人数

- 会場イベント 児童 361 名(16 か所)
- 出前授業 児童 1,294 名(計 24 校/49 クラス)

合計:1,655 名(児童のみ)

児童と大人(保護者)合算:1,835名

3. 事業成果物及び URL

公式ウェブサイト「プログラミングで海の SDGs!」

https://programming.or.jp/umip/

計測期間: 2023年4月1日~2024年3月31日

ユーザー数:26,195

セッション数:37,580

PV 数合計:388,312

公式 Facebook ページ

https://www.facebook.com/YppSDGs/

エンゲージメント累計:213

Facebookページのリーチ:31,057

• 公式 X(旧 Twitter)

https://twitter.com/YppSDGs

インプレッション累計:16,662

• 公式YouTubeチャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCbbmQj4QW7L-cuvhXApuaiA

視聴回数合計:236

4. 広報としての制作物

- チラシ印刷部数:45,700部
 - 8/11 (金祝) 大阪府河内長野市イベント: 3,500部
 - 9/3 (日) 沖縄県宮古島市イベント: 2,700部
 - 9/18 (月祝) 静岡県沼津市イベント: 6,500部
 - 9/23 (土) 香川県丸亀市イベント: 9,500部
 - 9/24 (日) 広島県呉市イベント:7,000部
 - 9/30 (土) 長野県上田市イベント: 4,500部
 - 10/28(土)神奈川県横浜市イベント:3,000部
 - 11/18 (土) 宮城県石巻市イベント: 4,500部
 - 12/16 (土) 群馬県桐生市イベント: 4,500部

5. イベント実施に伴う制作物や購入記載

- プログラミングワークショッププログラムソース (2種類)
- ワークショップ講義資料(2種類・バリエーションあり)
- 各イベント当日の記録(写真、ビデオ映像)
- 必要機材(助成表示ステッカー貼付写真)

6. 本事業に関する広報活動実績

(1) 実施ワークショップ

① 水素情報館 東京スイソミル (東京都江東区)

日時会場:5月4日(木・祝) 水素情報館 東京スイソミル

実施内容:Scratchでブルーカーボンチャレンジ!

実施経緯:東京都環境公社より依頼

② こども科学センター・ハチラボ (東京都渋谷区)

日時会場:9月9日(土) こども科学センター・ハチラボ

実施内容: Scratch でブルーカーボンチャレンジ! 実施経緯:こども科学センター・ハチラボより依頼

③ 滋賀大学 子ども統計プログラミング教室(滋賀県長浜市)

日時会場:11月12日(日) さざなみタウン(ながはま文化福祉プラザ)

実施内容: Scratchでブルーカーボンチャレンジ! 実施経緯: 滋賀大学 産学公連携推進課より依頼

7. 成果物がアップロードされている CANPAN の URL

「プログラミングで海の SDGs! (海と日本 2023)」事業報告書/事業成果物 https://fields.canpan.info/report/detail/31154